

和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
コジャノメ	タテハチョウ科	少し暗めのヒメジャノメ	x	x	○	全国

成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○ 食草		食樹		発生回数/年		越冬形態					
ススキ、チヂミザサほか				3		幼虫					



生田緑地 5月末 羽はヒメジャノメに比べると濃い色調



津久井城山公園 6月初旬 羽を開くとコジャノメと分る

飛んでいるとなかなかヒメジャノメとの区別が付きませんが、後羽の表の羽にはヒメジャノメにはないジャノメチョウのトレードマークともいえる眼状紋があることで簡単にわかります（但し、余り羽を開いてくれません）。ヒメジャノメが明るいところを好むのに比べると、コジャノメは暗いところを好む陰的な傾向があります。

ジャノメチョウは全般的には暗いところを好む傾向が強いのですが、周辺地域で上記のヒメジャノメ以外にも明るいところを好む蝶として、ヒメウラナミジャノメ、ジャノメチョウ（個別の蝶の種類です）があげられます。また、この周辺には見られませんが高山蝶のベニヒカゲ、さらに高地にいるクモマベニヒカゲなども明るい草地を飛び、訪花します。右下の写真はフランスのヴェルサイユ宮殿の庭にいた「マキバジャノメ」で陰性のカケラもありません。

陽性のジャノメチョウたち



ジャノメチョウ
長野県 南佐久郡
7月下旬
(多摩川周辺にもいるという記録はあるものの見たことはありません)



ヒメウラナミジャノメ
多摩川土手 稲田堤
5月中旬
ナヨクサフジで吸蜜



ベニヒカゲ (高山蝶)
長野県 前穂高岳 岳沢
8月下旬
タテヤマアザミで吸蜜
後羽裏に白い斑がはいるクモマベニヒカゲは、ベニヒカゲよりさらに高所に生息する



マキバジャノメ
フランス ヴェルサイユ
7月下旬
ヴェルサイユ宮殿内の
"Grand Trianon"の庭